

東京大学は自らの行動によって、サステイナブルな社会の実現に向けた道筋を作りたいと考え「東大サステイナブルキャンパス(TSCP)」を全学プロジェクトとして立ち上げています。活動の一環として、大学が保有する演習林での間伐推進プロジェクトを進めています。

プロジェクトの実施場所	東京大学 北海道演習林
吸収量(予測)	年間 199 t-CO2
在庫量	
クレジットの次回発行予定	現在のところ販売予定はございません。
1t-CO2あたりの希望単価	

東京大学演習林は、森林・林業の実践的研究・教育の場として全国7ヶ所に合計約32,000haの地方演習林を擁している他、森林生態圏管理学協力大講座として大学院学生の指導・教育にもあたっています。

東京大学演習林のうち要件を満たす3演習林と2研究所で、間伐促進型プロジェクトを先導的に進めることで、同様の演習林を保有する国立大学への波及効果を含め、制度全般の普及・拡大に繋がりたいと考えています。

千葉演習林での取り組みをパイロットプロジェクトとして申請し、大学演習林として初めて登録されました。順次残りの演習林・研究所のプロジェクト化を進めており、北海道演習林が3番目に登録されました。



東京大学
北海道演習林

